

第4回 産業データサブワーキンググループ

事務局資料

第4回 アジェンダ

日時：令和6年12月9日：11:00 - 12:00

場所：オンライン

アジェンダ

スピーカー

時間

オープニング

事務局

5分

- 産業データの国際データガバナンスに関する
マニュアル（仮称）（案）の構成
- 本日の議論ポイント

全体ディスカッション

ディスカッション: 全員
ファシリテーション: 生貝座長

50分

クロージング

事務局

5分
(バッファを含む)

60分

➤ オープニング

- 産業データの国際データガバナンスに関するマニュアル（仮称）（案）の構成
- 本日の議論ポイント

全体ディスカッション

クロージング

産業データの国際データガバナンスに関するマニュアル（仮称）（案）の構成

- これまでの議論を踏まえ、企業における安全・安心な形でのデータ共有・利活用を実現し、付加価値の創出を促進するため、企業における産業データの国際流通・越境に係るデータ管理と共有・利活用（国際データガバナンス）の指針となるマニュアルを作成

1. はじめに

- 1.1 背景と目的
- 1.2 想定読者と留意点

2. 検討の前提と考え方

- 2.1 検討の範囲・スコープ
- 2.2 関連する検討及びガイドラインとその位置づけ

3. 国際データガバナンスのステップ

- 3.1 全体像・フレームワーク
- 3.2 リスクの可視化
- 3.3 リスクの評価
- 3.4 打ち手の実施

4. 想定リスクとその打ち手詳細

- 4.1 リスクと打ち手の方向性(サマリ)
- 4.2 主要な関連法規制（EU・中国・米国）
- 4.3 主要なリスクと打ち手の詳細

（補論）法の抵触、越境データに関する政策インデックス

5. 終わりに

別添

参考資料A 打ち手・措置のリスト

参考資料B 個別ケース・事例紹介

本日の議論ポイント

- 本日は、これまでの議論を総括の上、今後深掘すべきポイントについて議論したい

① これまでの議論を通じた全体の所感

- これまでの議論を振り返り、特に重要と感じる点、ハイライトしたい点は何か
(マニュアルを通じて、発信・伝えられると良い内容は何か)
- マニュアルに対する追加のご意見、コメントはあるか

② マニュアルのターゲットと打ち出し方

- 企業の誰にとって、特に有益なマニュアルだと考えられるか
- 企業にとって、どのような手段で周知できると良いか

③ 全体を通じて今後深掘すべきポイント

- 今後マニュアルを改訂していくにあたり、深掘できると良いテーマ・論点はあるか

オープニング

- 産業データの国際データガバナンスに関するマニュアル（仮称）（案）の構成
- 本日の議論ポイント

➤ 全体ディスカッション

クロージング

本日の議論ポイント

- 本日は、これまでの議論を総括の上、今後深掘すべきポイントについて議論したい

① これまでの議論を通じた全体の所感

- これまでの議論を振り返り、特に重要と感じる点、ハイライトしたい点は何か
(マニュアルを通じて、発信・伝えられると良い内容は何か)
- マニュアルに対する追加のご意見、コメントはあるか

② マニュアルのターゲットと打ち出し方

- 企業の誰にとって、特に有益なマニュアルだと考えられるか
- 企業にとって、どのような手段で周知できると良いか

③ 全体を通じて今後深掘すべきポイント

- 今後マニュアルを改訂していくにあたり、深掘できると良いテーマ・論点はあるか

オープニング

- 産業データの国際データガバナンスに関するマニュアル（仮称）（案）の構成
- 本日の議論ポイント

全体ディスカッション

➤ クロージング